

第2回 浮体式洋上風力発電施設の安全評価手法等検討会 議事要旨

1. 検討会概要

○日時：令和6年11月12日（火）10:00～12:00

○場所：海上技術安全研究所本館2階応接室/オンライン

2. 議事概要

○事務局からの説明

- ・ 議題1 係留システム健全性評価のためのモニタリング方法について
- ・ 議題2 合成繊維索の生物付着調査に基づいた生物付着量の評価方法について
- ・ 議題3 将来検討すべき論点・課題の整理
- ・ 議題4 その他

○主なご意見

以下のようなご意見を踏まえて、事業を進めることになった。

（議題1）

- ・ 運動の平均値に対する風、波、流れの各要因は相互に影響する可能性が有る。また、運用時にはセンサ精度も関係する。これらの課題の解決に向けて今後よく検討していただきたい。

（議題2）

- ・ 海域調査を実施する場合、生物付着の厚さは目視可能であるが、比重は必ずしも一様ではないので、設計に反映するのであれば、エビデンスとなりえるような水中重量の把握方法についても検討していただきたい。
- ・ データの蓄積が進めば、近隣海域のデータを用いて地域差を考慮した設計が可能になる。合成繊維索の普及拡大に向けて、合理的な設計ができるよう、データの蓄積を進めていただきたい。

（議題3）

- ・ A-2 係留ライン等の設計に関する事項①は、海外船級協会の基準と比較に加えて、現在の技術基準の根拠や背景も入れて、議論を進めてほしい。
- ・ A-2 係留ライン等の設計に関する事項②は、原案でのご了解をいただいたものとする。
- ・ A-3 短期の実海域実証のための荷重計算条件の検討では、原案でのご了解をいただいたものとする。